**剣道用具確認証**

第３６回東北高等学校剣道選抜優勝大会長 殿

本大会の出場にあたり、本校選手が使用する用具について、全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」および、本大会の「大会要項」に即し、下記項目の確認いたしました。

日付：令和　６　年 　 　　月 　　 　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　県

　　　　　　　　　　　　　　　高等学校

　　　　男子　　　・　　　女子

　　監督氏名：　　　　　　　　　　　　　　　印

記

1）竹刀関連：検査予定本数 ： 合計 　　　　　本

□ 竹刀の長さが適正

□ 竹刀の重さが適正

□ 竹刀の太さが適正

□ 破損・ささくれはない

□ 中結の位置（＝全長の約1/4）が適正、かつ緩んでいない

□ 各ピース（竹）間に大きな隙間がない

□ 安全性を著しく損なう加工・形状変更や華美な装飾（彫りもの）等をしていない

2）小手関連

□ こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の1/2以上を保護している

□ 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が2.5cm以内である

□ 小手頭部･小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある

3）面関連

□ 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている

□ 面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある

4）剣道着関連

□ 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れている）

以上